

PRESS RELEASE (2020/06/10)

「九州大学 未来創成科学者育成プロジェクト(QFC - SP)」は今年も開講します。
科学者をめざす九州・山口の高校生みなさん、コロナ禍を一緒に乗り越えながら、大学レベルの研究活動を体験しませんか？

■概要

「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」は、高校生に最長20か月にわたって受講料無料で大学レベルの研究体験を提供し、高校生の能力を伸ばすプロジェクトで、6年目の昨年は九州・山口全域から競争率約5倍のご応募を頂きました。

新型コロナウイルス感染拡大の中、今回の開講は慎重に検討しましたが、次世代の科学者をめざす高校生たちの情熱に応えるため、今年度も受講生を募集することに致しました。現在、本学のオンライン授業に活用している先端設備を生かし、オンラインならではの工夫した科学研究カリキュラムを準備しています。

コースは、現代社会の諸問題に「科学」のアプローチと課題解決を試みる次の4つです。
「科学と物質」「エネルギーと地球環境」「生物と生命」「デザインとメディア」
プロジェクトの詳細は添付資料をご覧ください。

今年の高校1年生は、始まったばかりの高校生活がコロナ禍に揺さぶられ、悩みも多いと思いますが、潜在能力に満ちた九州・山口の高校生たちにこのようなチャンスがあることをぜひ知って頂けたらと思います。

■応募資格

九州・山口地区の高等学校、中高一貫の中等教育学校及び高等専門学校に在学する高校1年生で、九州大学の各キャンパス等で提供する本プロジェクトの受講（オンラインを含む）が可能なる者

■募集人員

60名程度（各コース10～20名程度） ※選抜審査を実施し受講者を決定

■応募方法

九州大学QFC-SP ホームページの志願者エントリーページから応募
QFC-SP エントリーページ <https://qfcsp.kyushu-u.ac.jp/>

■応募期間

2020年5月18日（月）－ 7月10日（金）17時



【高校生の成果発表会】



【お問い合わせ】学務部学務企画課企画調査係
電話：092-802-5811 FAX：092-802-5990
Mail：gakikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

QFC-SP

Kyushu University Future Creators in Science Project

九州大学 未来創成科学者
育成プロジェクト 2020年度

受講生募集!

WEBエントリー

5月18日(月)~
7月10日(金)

選考試験

7月26日(日)

受講開始

8月下旬以降

※決まり次第
お知らせします

※特別聴講生制度もあります。
詳細は募集要項をご確認ください。

エントリーはこちらの
QRコードからできます。

詳しくはQFC-SPホームページの
募集要項をご覧ください。エントリー
はホームページからもできます。



募集人員

合計 60名程度

※対象者 高校一年生



for Future Scientists

4つのコース

- ・ 科学と物質コース
- ・ エネルギーと地球環境コース
- ・ 生物と生命コース
- ・ デザインとメディアコース



科学を体験しませんか？ 研究に挑戦しませんか？

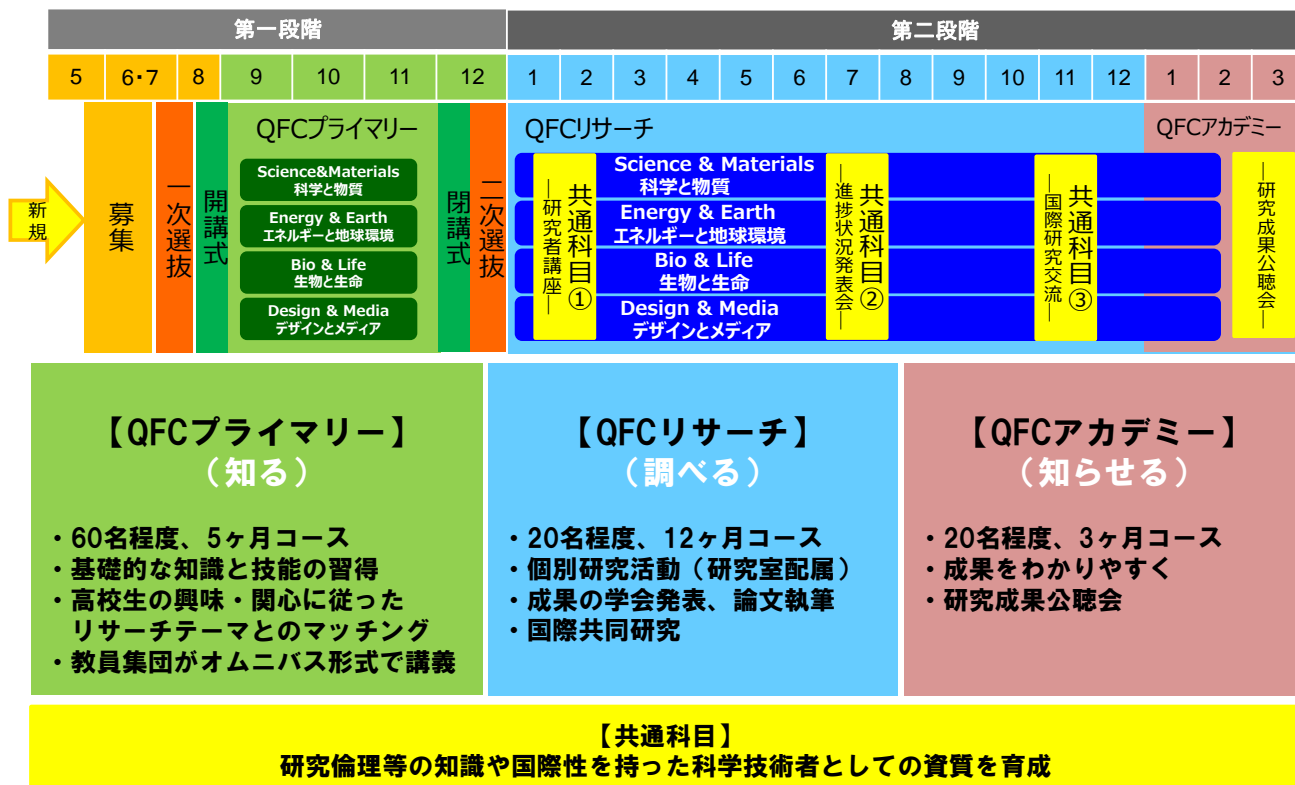


Future Creators in Science Project(QFC-SP)

九州・山口から選ばれた高校1年生が
 ★20ヶ月間(5ヶ月+15ヶ月)にわたって
 ★高校では体験できない
 ★大学レベルの研究テーマに
 ★大学教員・大学院生と一緒に
 取り組み、研究成果を発表しています！



QFC-SP教育プログラム構成



4つのコースを準備

◆高校生にも選びやすく、21世紀社会の課題にも対応する **4つの分野系**

分野系	リサーチテーマ
Science & Materials 科学と物質	◆壊してわかるものづくり～変形と破壊の科学～ ◆鉄を鍛えるナノテクノロジー～「窒素」を利用した新合金開発～ ◆2050年の錬金術～電子レンジで石を金属に～ ◆灼熱の理論限界を超えて～あらゆる物を融かす3000℃にも耐える物質～ ◆原子を見て材料の性質を知る ◆金属系3Dプリンタでものづくり革命 ◆10億倍の光を利用した透視術
Energy & Earth エネルギーと地球環境	◆ゼロエミッションへの挑戦～排気ガスからエネルギーを生む～ ◆永久電流、電気抵抗ゼロの世界～-196℃で躍動する超伝導体～ ◆地球の過去・現在・未来 ◆全く新しい概念で創成された生分解性プラスチック ◆賢者の石「触媒」で地球環境を守る ◆研究開発における電子顕微鏡 ◆高温材料が拓く未来～火力発電のキーマテリアルズ～
Bio & Life 生物と生命	◆遺伝子を用いた系統解析/遺伝子組換えを用いた細胞内可視化 ◆酵素の立体構造解析 ◆自然免疫の進化と多様性 ◆昆虫の多様性を探求する ◆海洋微生物を利用した有用脂質の生産 ◆樹木の生き様を考える ◆“顔のかたち”の成長を考える ◆cognitive and neural mechanisms of evaluative decision-making ◆脳の働きを観る ◆多細胞生物の個体を生み出す基盤を探求する ◆効率的な食肉生産を目指した筋細胞研究
Design & Media デザインとメディア	◆情報メディアとAI ◆テクノロジーに対する人間の適応能 ◆色覚の多様性から色彩デザインを考える ◆音環境の評価とデザイン ◆音響機器の性能評価とデザイン ◆環境のための未来構想デザイン ～生命・情報、社会、アートから考える～ ◆これからのインダストリアルデザイン

11部局32名の教員が参加（2020年度）

QFCプライマリーの取組



オムニバス講義



昨年の様子

発展的課題レポート



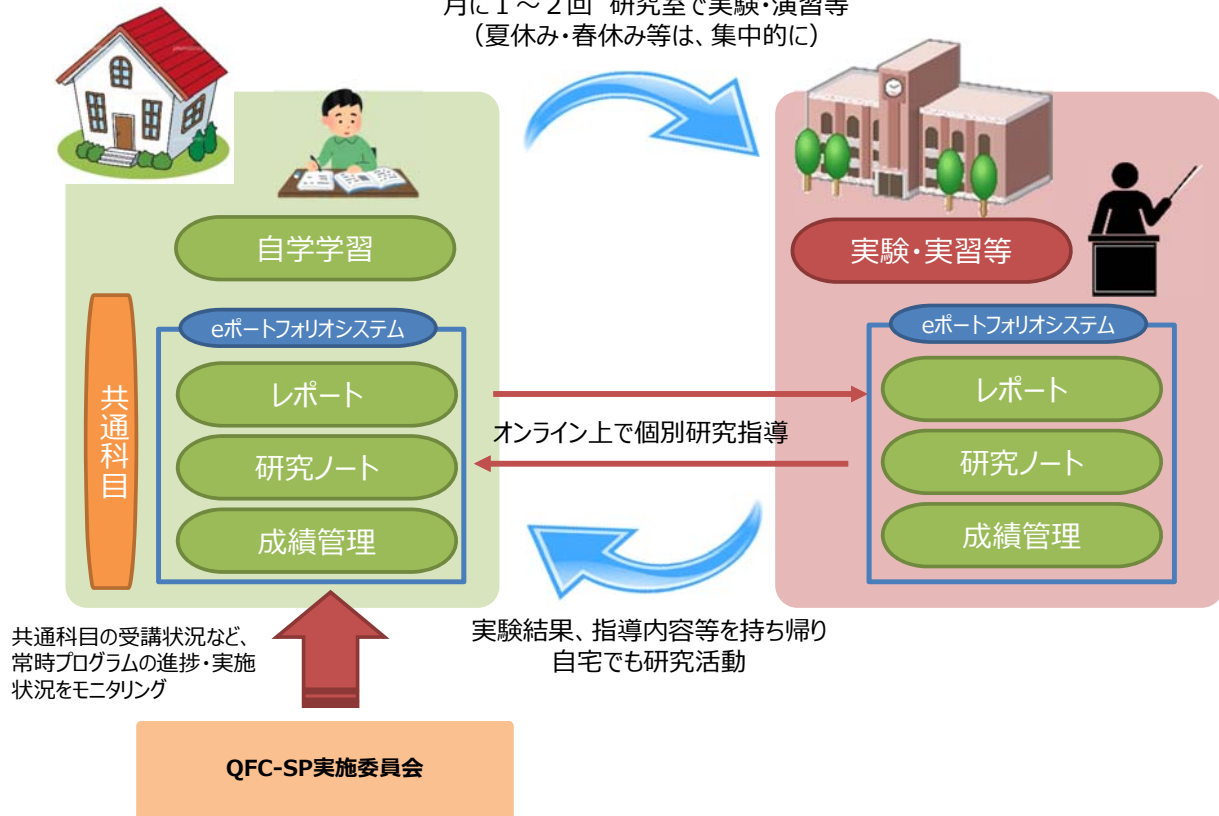
実験・演習



グループワーク

Eポートフォリオシステムを活用

月に1～2回 研究室で実験・演習等
(夏休み・春休み等は、集中的に)



地域や社会への普及・展開

九州・山口のSSH、SGH、SPH、GSC
の高校生が九大で研究発表
(2019年度) 参加高校数34校、発表ポスター数122件、発表者268人

